

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 24 年 1 月 19 日 (2012.1.19)

【公表番号】特表 2009-514701 (P2009-514701A)

【公表日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報 2009-014

【出願番号】特願 2008-538924 (P2008-538924)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

C 0 8 G 18/61 (2006.01)

C 0 9 D 5/20 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 157/06 (2006.01)

C 0 9 D 183/12 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 153/02 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/00 1 0 1

C 0 8 G 18/61

C 0 9 D 5/20

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 157/06

C 0 9 D 183/12

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 153/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 22 日 (2011.11.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材と、

前記基材上に配置された剥離被膜を備える物品であって、

前記剥離被膜が、シリコン含有ポリマーの総重量の 15 重量%を超え 65 重量%未満のシリコンセグメントを含む熱可塑性シリコン含有ポリマーと、

水分散性である二次熱可塑性被膜形成性ポリマーとを備え、

前記剥離被膜が、水及び任意成分の水混和性有機共溶媒を含むコーティング組成物でコーティングされ、

前記剥離被膜が、-10 (263 K) の中間ブロック T<sub>g</sub> を有し、20 ~ 40 g / m<sup>2</sup> のコーティング重量でコーティングされた、粘着付与されたスチレン - イソプレン - スチレン感圧接着剤を含む参照締結試験テープから 2.5 cm 当たり少なくとも 0.98 N (100 グラム) の初期 135 ° 剥離力を示す、物品。

【請求項 2】

前記熱可塑性シリコン含有ポリマーが、30 重量% ~ 35 重量%のシリコンセグメントを含む、請求項 1 に記載の物品。

## 【請求項 3】

前記熱可塑性シリコン含有ポリマーが、前記シリコン含有ポリマーの総重量の 25 重量%～45 重量%のハードセグメントと 15 重量%～45 重量%のソフトセグメントを含む、請求項 1 に記載の物品。

## 【請求項 4】

前記熱可塑性シリコン含有ポリマーが、30 重量%～35 重量%のハードセグメントと 30 重量%～35 重量%のソフトセグメントを含む、請求項 3 に記載の物品。

## 【請求項 5】

前記熱可塑性シリコン含有ポリマーが、前記シリコン含有ポリマーの総重量の 1 重量%～5 重量%の -COOH 基を含む、請求項 1 に記載の物品。

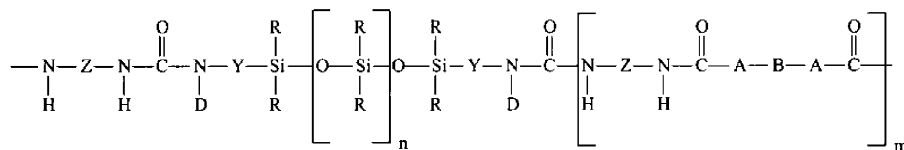
## 【請求項 6】

前記剥離被膜が、 $2.0 \text{ g/m}^2$  以下のコーティング重量で裏材上に配置されており、前記熱可塑性シリコン含有ポリマーが、シリコンポリ尿素を含む、請求項 1 に記載の物品。

## 【請求項 7】

前記熱可塑性シリコン含有ポリマーが、以下の繰返し単位：

## 【化 1】



(式中、

Z は、フェニレン、アルキレン、アラルキレン及びシクロアルキレンから選択される二価基であり、

Y は、1～10 個の炭素原子のアルキレン基であり、

R は、少なくとも 50% がメチルであり、全ての R 基 100% の残部が、2～12 個の炭素原子を有する一価アルキル基、2～12 個の炭素原子を有する置換アルキル基、ビニル基、フェニル基、及び置換フェニル基から選択され、

D は、水素、1～10 個の炭素原子のアルキル基、及びフェニルから選択され、

B は、アルキレン、アラルキレン、シクロアルキレン、フェニレン、ポリエチレンオキシド、ポリプロピレンオキシド、ポリテトラメチレンオキシド、ポリエチレンアジペート、ポリカプロラクトン、ポリブタジエン、これらの混合物、及び A を含む環状構造を完結して複素環を形成する基から選択され、側-COOH 基を含有してもよく、

A は、-O- 及び -N-



から成る群から選択され、

ここで、G は、水素、1～10 個の炭素原子のアルキル基、フェニル基、及びヘテロ環を形成させるために B を含む環状構造を完成させる基からなる群から選択され、

「n」は、10 以上の数であり、並びに

「m」は、0 以外で 25 までの数である)を含む、請求項 6 に記載の物品。

## 【請求項 8】

前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーが、スチレン-アクリルコポリマー、エチレン-塩化ビニル-酢酸ビニルターポリマー、酢酸ビニル-エチレンコポリマー、カルボキシ化酢酸ビニル-エチレンコポリマー、エチレンビニルアセテートコポリマー、エチレン-塩化ビニルコポリマー、酢酸ビニルアクリルコポリマー、アクリルポリマー、ポリビニル

アセテートホモポリマー及びこれらの混合物から成る群から選択され、

前記任意成分の水混和性有機共溶媒が、1-メチル-2-ピロリジノン、プロピレングリコール、ヘキシルカルビトール、ドワノール(Dowanol)PnB、イソプロパノール、及びこれらの混合物から成る群から選択され、

前記剥離被膜が、

前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーと前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーとの総重量の5重量%~99重量%の前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーと、

前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーと前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーとの総重量の1重量%~95重量%の前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーとを含む、

請求項1に記載の物品。

【請求項9】

前記剥離被膜が、

10重量%~20重量%の前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーと

80重量%~90重量%の前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーとを含む、請求項1に記載の物品。

【請求項10】

前記剥離被膜が配置される表面とは反対側の表面の前記基材上に配置された感圧接着剤を更に備え、前記感圧接着剤がスチレン系ブロックコポリマーゴムを含み、

前記感圧接着剤が、-15(258K)~-11(262K)の中間ブロックTgを有し、16~25g/m<sup>2</sup>のコーティング重量でコーティングされた、粘着付与されたスチレン-イソプレン-スチレンブロックコポリマーを含み、更に前記物品が、2.5cm当たり少なくとも0.49N(50グラム)の初期巻出し力を示し、

請求項1の前記剥離被膜に適用してそこから取り外された後、前記参照締結試験テープが、ポリエチレンから2.5cm当たり少なくとも3.92N(400グラム)の再付着135°剥離力を示し、

前記剥離被膜が綿ダックカンバスで30回摩耗された後、-10(263K)の中間ブロックTgを有し、20~40g/m<sup>2</sup>のコーティング重量でコーティングされた、粘着付与されたスチレン-イソプレン-スチレン感圧接着剤を含む参照締結試験テープからの初期135°剥離力が200%以下の増加を示す、

請求項1に記載の物品。

【請求項11】

基材と、

前記基材上に配置された剥離被膜とを備える物品であって、前記剥離被膜が、シリコーンセグメント、-COOH基を含有するハードセグメント、及びソフトセグメントを含む熱可塑性シリコーン含有ポリマーと、

ここで、前記シリコーンセグメントは、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の20重量%~50重量%の量で存在し、

前記ハードセグメントは、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の25重量%~45重量%の量で存在し、

前記ソフトセグメントは、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の15重量%~45重量%の量で存在し、及び

前記-COOH基は、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の1重量%~5重量%の量で存在し、並びに

水分散性である二次熱可塑性被膜形成性ポリマーとを含み、

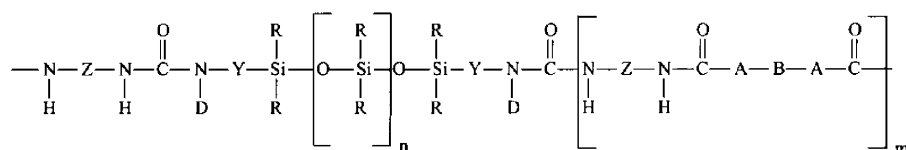
前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーが、前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーと前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーとの総重量の5重量%~99重量%の量で存在し、及び前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーが、前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーと前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーとの総重量の1重量%~95重量%の量で存在し、

前記剥離被膜が、水及び任意成分の水混和性有機共溶媒を含むコーティング組成物でコーティングされ、

【請求項 1 2】

前記熱可塑性シリコン含有ポリマーが、以下の繰返し単位：

【化 2】



【請求項 13】

第1主表面及び第2主表面を備えるポリプロピレン裏材と、

前記裏材の前記第1主表面に配置された感圧接着剤と、

前記裏材の前記第2主表面に配置された低粘着性バックサイズ被膜と、

ここで、前記低粘着性バックサイズ被膜は、シリコーンセグメント、 $-COOH$ 基を含むハードセグメント、及びソフトセグメントを含む熱可塑性シリコーン含有ポリマーを備え、

前記シリコーンセグメントは、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の20重量%～50重量%の量で存在し、

前記ハードセグメントは、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の25重量%～45重量%の量で存在し、

前記ソフトセグメントは、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の15重量%～45重量%の量で存在し、及び

前記 $-COOH$ 基は、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の1重量%～5重量%の量で存在し、並びに

水分散性である二次熱可塑性被膜形成性ポリマーとを含むおむつテープを備えるおむつであって、

前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーが、前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーと前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーの総重量の5重量%～99重量%の量で存在し、及び前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーが、前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーと前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーの総重量の1重量%～95重量%の量で存在し、

前記低粘着性バックサイズが、水及び任意成分の水混和性有機共溶媒を含むコーティング組成物でコーティングされ、

前記低粘着性バックサイズ被膜が、 $-10$  (263K)の中間ブロックTgを有し、 $20 \sim 40 \text{ g/m}^2$ のコーティング重量でコーティングされた、粘着付与されたスチレン-イソプレン-スチレン感圧接着剤を含む参照締結試験テープから2.5cm当たり少なくとも $0.98 \text{ N}$  (100グラム)の初期135°剥離力を示す、おむつ。

#### 【請求項14】

基材を提供する工程と

熱可塑性シリコーン含有ポリマーと二次熱可塑性被膜形成性ポリマーのブレンドを含む水性分散液を前記基材の表面に塗布する工程と、

ここで、前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーは、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の15重量%を超え65重量%未満のシリコーンセグメントを含み、

前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーは、水分散性であり、及び

前記水性分散液は、水混和性有機共溶媒を含み、並びに、

前記水性分散液を乾燥し前記基材に配置された剥離被膜を形成する工程とを含む物品を作製する方法であって、

前記剥離被膜が、 $-10$  (263K)の中間ブロックTgを有し、 $20 \sim 40 \text{ g/m}^2$ のコーティング重量でコーティングされた、粘着付与されたスチレン-イソプレン-スチレン感圧接着剤を含む参照締結試験テープから2.5cm当たり少なくとも $0.98 \text{ N}$  (100グラム)の初期135°剥離力を示す、方法。

#### 【請求項15】

第1主表面及び第2主表面を有する裏材を提供する工程と、

感圧接着剤を前記裏材の第1主表面に塗布する工程と、

熱可塑性シリコーン含有ポリマーと二次熱可塑性被膜形成性ポリマーのブレンドを含む水性分散液を前記裏材の前記第2主表面に塗布する工程と、

ここで、前記熱可塑性シリコーン含有ポリマーは、前記シリコーン含有ポリマーの総重量の15重量%を超え65重量%未満のシリコーンセグメントを含み、

前記二次熱可塑性被膜形成性ポリマーは、水分散性であり、及び

前記水性分散液は、水混和性有機共溶媒を含み、並びに

前記水性分散液を乾燥し前記裏材に配置される低粘着性バックサイズ被膜を形成する工

程とを含む物品を作製する方法であって、

前記低粘着性バックサイズ被膜が、 $-10$  ( $263\text{ K}$ ) の中間ブロック  $T_g$  を有し、 $20 \sim 40\text{ g/m}^2$  のコーティング重量でコーティングされた、粘着付与されたスチレン-イソプレン-スチレン感圧接着剤を含む参照締結試験テープから  $2.5\text{ cm}$  当たり少なくとも  $0.98\text{ N}$  ( $100\text{ グラム}$ ) の初期  $135^\circ$  剥離力を示す、方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

(式中、

Z は、フェニレン、アルキレン、アラルキレン及びシクロアルキレンから選択される二価基であり、

Y は、 $1 \sim 10$  個の炭素原子のアルキレン基であり、

R は、少なくとも  $50\%$  がメチルであり、全ての R 基  $100\%$  の残部が、 $2 \sim 12$  個の炭素原子を有する一価アルキル基、 $2 \sim 12$  個の炭素原子を有する置換アルキル基、ビニル基、フェニル基、及び置換フェニル基から選択され、

D は、水素、 $1 \sim 10$  個の炭素原子のアルキル基、及びフェニルから選択され、

B は、アルキレン、アラルキレン、シクロアルキレン、フェニレン、ポリエチレンオキシド、ポリプロピレンオキシド、ポリテトラメチレンオキシド、ポリエチレンアジペート、ポリカプロラクトン、ポリブタジエン、これらの混合物、及び A を含む環状構造を完結して複素環を形成する基から選択され、水分散性形態の場合、B は、ブロックコポリマーを水分散性にするため十分な数の鎖内又は側カルボン酸基（又はカルボキシレートイオン）を含有する、

A は、 $-O-$  及び  $-N-$



から成る群から選択され、

ここで、G は、水素、 $1 \sim 10$  個の炭素原子のアルキル基、フェニル基、及びヘテロ環を形成させるための B を含む環構造を完成させる基 からなる群から選択され、

「n」は、 $10$  以上の数であり、並びに

「m」は、 $0$  以外で  $25$  までの数である) を含むオルガノポリシロキサン-ポリ尿素ブロックコポリマーである。